

かんたん設定ガイド

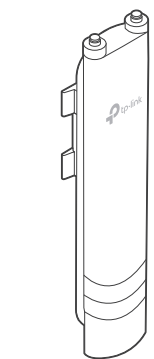
屋内/屋外用 アクセスポイント



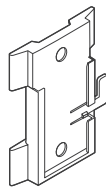
設定方法を動画で確認

QRコードをスキャンするか、以下URLから設定する機種の種類を選択してください。

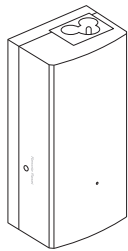
<https://www.tp-link.com/support/setup-video/>



EAP



取り付けブラケット
(EAP用)



パッシブPoEアダプター
(取り付けブラケット含む)



設定ガイド



M3×16 タッピングねじ
(2本)



M3×20 タッピングねじ
(2本)



電源コード

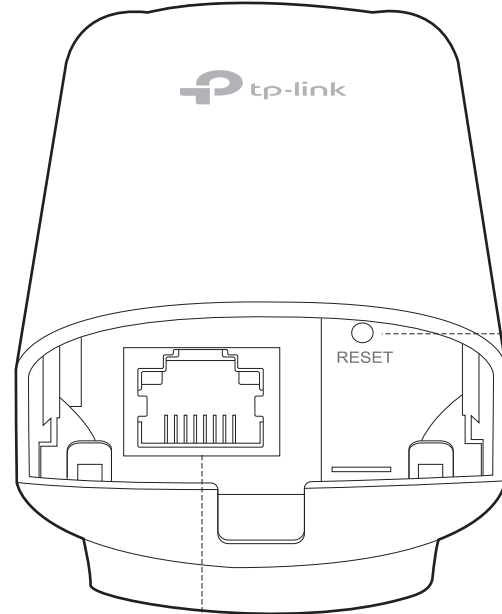


防水ゴム
インサート



ポールマウント用
ストラップ

パネル



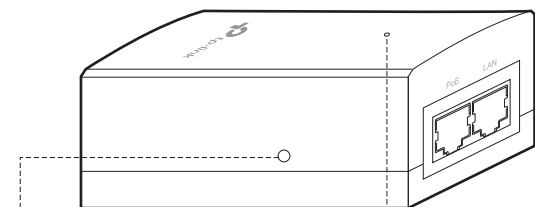
保護済みLANポート

リセット

LEDランプ

LEDステータス	表示内容
緑に2回点滅	初期化が完了しました。
緑点灯	デバイスは初期化中または正常に動作中です。
黄色点滅	システムエラーです。RAM・Flash・イーサネット・WLAN・ファームウェアが誤動作しています。
緑と黄色に点滅	ファームウェアの更新中です。デバイスとの接続を切ったり、電源をオフにしたりしないでください。
緑と黄色に高速点滅	デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセット中です。
緑にゆっくり点滅 (EAP225-Outdoor用)	デバイスは隔離状態です。

パッシブPoEアダプター



リモートリセット:

LEDが黄色から緑にすばやく点滅するまで、8秒ほど長押しすると、EAPが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

電源LED:

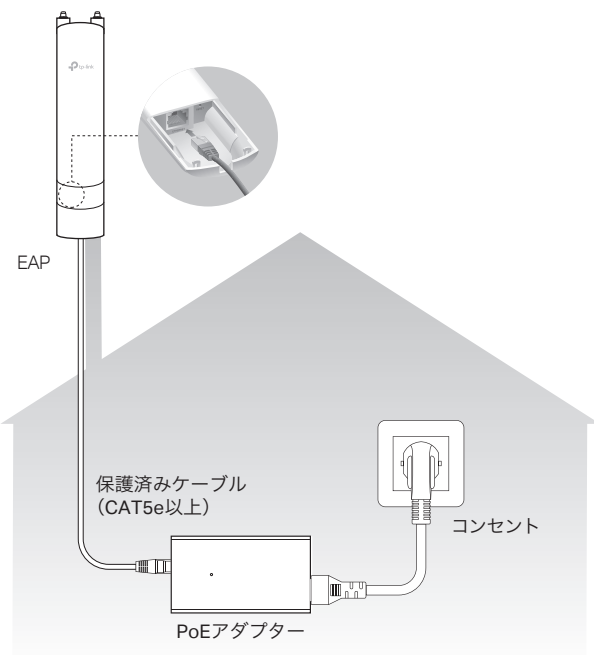
On: 電源オン
Off: 電源オフ

注意: EAP225-Outdoorはリモートリセット機能に対応していません。

2 雷・ESD保護

EAPを設置する前に、安全確保のために落雷およびESD保護を考慮する必要があります。

屋外機器にとっては適切な接地が非常に重要となります。カバー等で保護されたCAT5e以上のケーブルを使用することにより、ESDからの損傷を軽減させることができます。



3 ハードウェアの取り付け

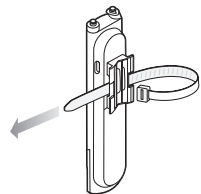
EAPの設置

EAPは、ポールマウントまたは壁取り付けが可能です。次の手順に沿って適切に設置してください。

方法1: ポールマウント

Step 1:

ポールマウント用のストラップをEAPの背面に通します。



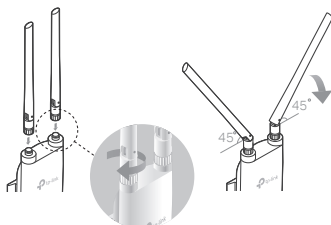
Step 2:

ポールマウント用ストラップを支柱に巻き付けてEAPを設置します。ストラップの端を留め具に通し、EAPが固定されるまで締めてください。



Step 3:

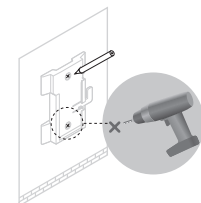
EAPにアンテナを取り付けます。最適なWi-Fiパフォーマンスを発揮できるように、アンテナの方向を調整してください。角度は45度を推奨します。



方法2: 壁取り付け

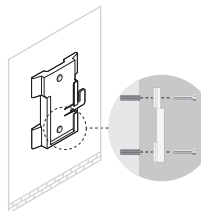
Step 1:

取り付けブラケット (EAP用) を設置したい場所に合わせ、ネジ穴用に印を2カ所つけます。印をつけた位置に6 mmの穴×2を開けます。



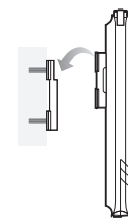
Step 2:

先ほど開けた穴に壁用プラスチックアンカーを差し込みます。取り付けブラケット (EAP用) をアンカーの位置に合わせ、M3×20 タッピングねじを打ち込みます。



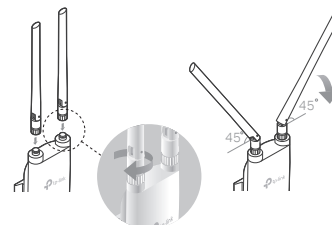
Step 3:

EAP背面の取り付けタブを、取り付けブラケット (EAP用) のスロットに合わせます。ロックされるまでEAPを下にスライドさせてください。



Step 4:

アンテナをEAPに取り付けます。最適なWi-Fiのパフォーマンスを発揮できるように、アンテナの方向を調整してください。角度は45度を推奨します。



ケーブル接続

Step 1:

インターフェースカバーの背面をしっかりと掴み、下方向にスライドさせて取り外します。



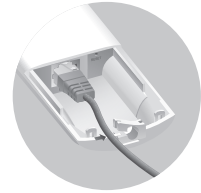
Step 2:

適切なLANケーブルを使用してLANポートに接続してください。安定した電源供給ができるケーブルの長さは最大100 mです。ケーブルはカバー等で保護されているCAT5e以上を推奨します。



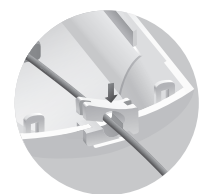
Step 3:

デバイス下部の溝に防水ゴムインサートを取り付け、穴の位置にLANケーブルを通します。



Step 4:

デバイスに対して平行になるよう防水ゴムインサートを押し込んだら、カバーを戻し、ロックされるようにしっかりと取り付けます。



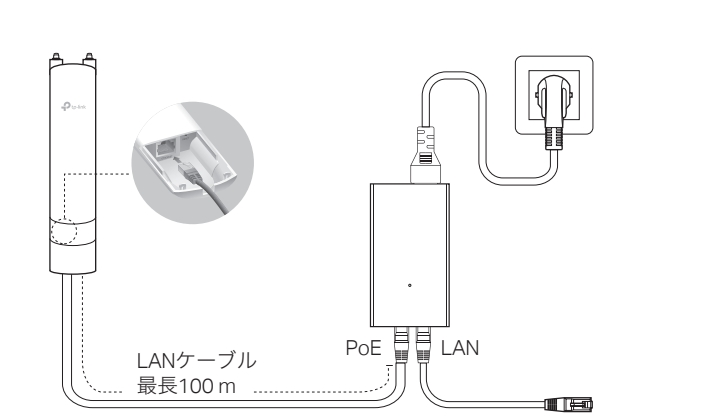
電源

EAPは、付属のパスシブPoEアダプターまたはPSEデバイス（PoEスイッチ等）を介して給電可能です。

方法1：パスシブPoEアダプター

PoEアダプターの接続

EAPとPoEアダプターを以下のように接続します：

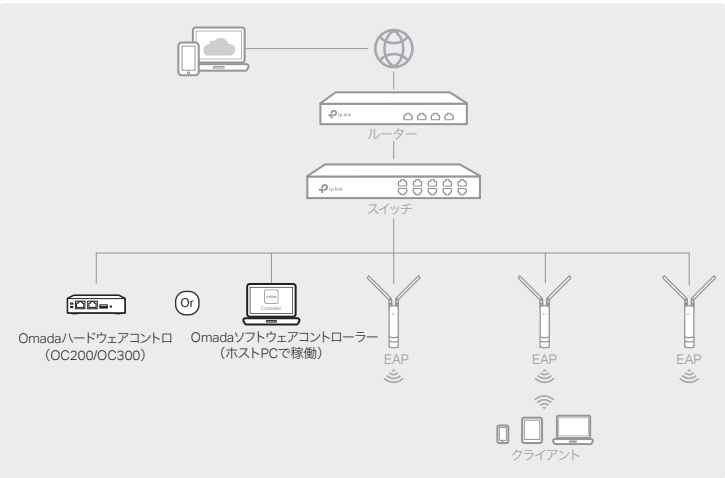


PoEアダプターの取り付け（オプション）

注意：パスシブPoEアダプターを安全に接続するために、LANポートを上に向けて取り付けることを推奨します。

方法2：Controller Mode

Controller Modeは、大規模なEAPの設定に適用できます。全てのEAPは、OmadaソフトウェアコントローラーやOmadaハードウェアコントローラー（OC200/OC300）、またはOmadaクラウドベースコントローラーから、一元で設定および監視が可能です。



Omadaソフトウェアコントローラー

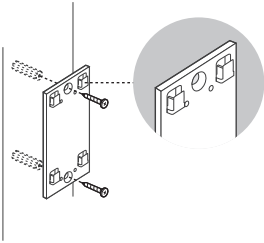
- Windows OSまたはLinux OSを搭載したPCで、<https://www.tp-link.com/support/download/omada-software-controller>からOmadaソフトウェアコントローラーのインストールファイルをダウンロードします。
- ファイルを実行し、ウィザードに従ってOmadaソフトウェアコントローラーをインストールします。
- Omadaソフトウェアコントローラーを起動させ、表示に沿ってクイックセットアップを完了させます。
- ウィザード完了後にログイン画面が表示されます。作成したユーザー名とパスワードを入力し**Log in**をクリックすると、コントローラーの詳細設定ができます。

* Omada クラウドサービス

Omadaソフトウェアコントローラーをインストールした後、Omadaクラウドサービスを利用してコントローラーにリモートでアクセス・設定ができるようになります。次の手順に沿って進めてください。

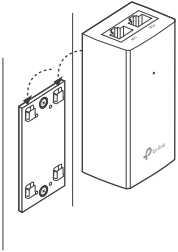
Step 1:

パスシブPoEアダプターから取り付けブラケットを取り外します。壁に2ヵ所の穴を開け、壁用プラスチックアンカーを差し込んだら、M3×16 タッピングねじを使って取り付けブラケットを壁に固定します。この際に四つ角にある取り付け部分が上向きになっていることを確認してください。



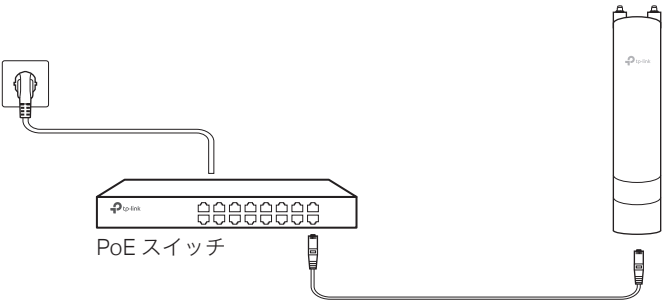
Step 2:

パスシブPoEアダプターをブラケットの取り付け位置に合わせ、ロックされるまで矢印の方向にスライドさせます。



方法2：PoEスイッチ（EAP225-Outdoorのみ）

EAPのLANポートとPoEスイッチをLANケーブルで繋ぎます。



- コントローラーの設定ページで**Cloud Access**を有効にし、TP-Link IDをコントローラーに紐付けます。セットアップウィザードで既に設定している場合は、この手順をスキップしてください。
- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに<https://omada.tplinkcloud.com>と入力します。
- TP-Link IDとパスワードを入力してログインすると、IDに紐付けされているコントローラーのリストが表示されます。Launchをクリックし、コントローラーの詳細設定ができます。

* Omada アプリ

Omadaアプリを使用すると、現地とリモートの両方でOmadaソフトウェアコントローラーを管理することもできます。Omadaアプリを使用する場合、Omadaソフトウェアコントローラーも稼働している必要があるのご注意ください。

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。



- Omadaアプリを起動させ、現地またはリモートからコントローラーを設定します。

- ローカル管理
 - モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID（TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX）に接続させます。
 - Omadaアプリを起動させて**Local Access**に進み、右上の+ボタンをタップしてコントローラーを追加します。続いてコントローラーの詳細設定ができます。
- リモート管理
 - コントローラーで**Cloud Access**が有効になっていて、TP-Link IDに紐付けされているか確認してください。
 - Omadaアプリを起動させTP-Link IDでログインします。**Cloud Access**に進むとIDに紐付けされているコントローラーのリストが表示され、コントローラーの詳細設定ができます。

Omadaハードウェアコントローラー（OC200/OC300）

OmadaソフトウェアコントローラーがプリインストールされているOmadaハードウェアコントローラー（OC200/OC300）は、ネットワーク上でOmadaソフトウェアコントローラーを稼働させるための予備PCがない場合に適した代替手段です。使用する場合は追加購入が必要となります。詳細については、OC200/OC300のインストールガイドを参照してください。

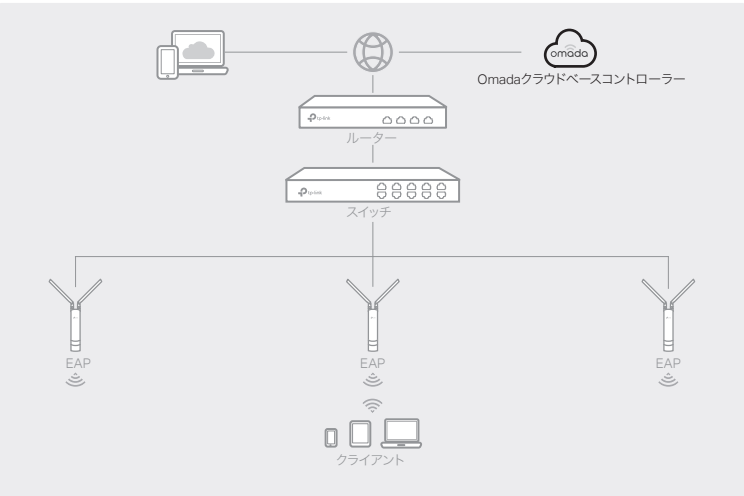
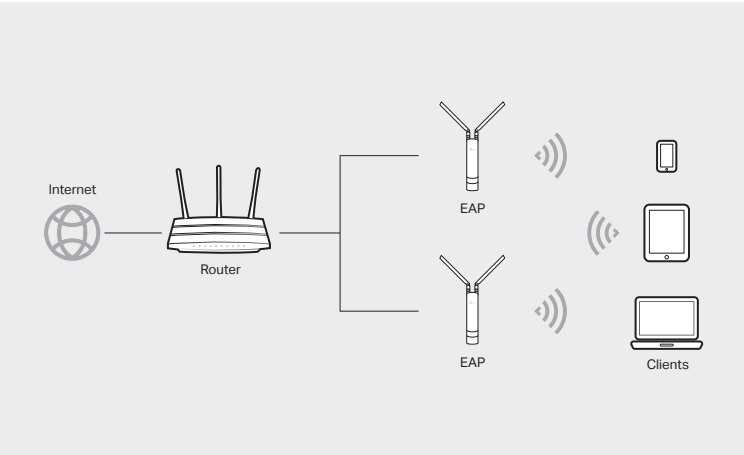
4 ソフトウェアの設定

ローカルネットワークのEAPとクライアントにIPアドレスを割り当てるには、DHCPサーバー（通常はDHCP機能が有効になっているルーター）が必要です。

このEAPでは2つの設定方法に対応しています：

- EAPを単独で構成および管理する場合は（複数のEAPを持つ小規模ネットワークに適しています）、**「Standalone Mode」**を推奨します。方法1を参照してください。
- EAPを一括で構成および管理する場合は、**「Controller Mode」**を推奨します。方法2を参照してください。

方法1：Standalone Mode



Omadaクラウドベースコントローラー

- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに<https://omada.tplinkcloud.com>と入力します。続いてTP-Link IDとパスワードを入力してログインします。
- Add Controller**をクリックして、Omadaクラウドベースコントローラーを購入します。表示に沿ってプランを選択し支払いを完了させたら、コントローラーが展開されるまで待ちます。
- コントローラーがTP-Link IDに紐付けされると、リストに表示されます。**Launch**をクリックし、表示に沿ってクイックセットアップを完了させます。ウィザードが完了したら、作成したユーザー名とパスワードを使用してログインします。
- サイドバーから**Devices>Add Devices**の順にクリックします。製品下部にあるシリアル番号を使用して、デバイスをコントローラーへ手動で追加できます。

* Omada アプリ

Omadaクラウドベースコントローラーの管理もOmadaアプリから可能です。

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。



Omada アプリ

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。



- モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID（TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX）に接続させます。
- Omadaアプリを開き、EAPが**Standalone AP**ページに表示されるのを待ちます。表示されたら設定するEAPをタップしてください。

Omadaアプリからは一般的な設定のみを構成できます。詳細な設定をする場合は、EAPまたはコントローラーのWebページにログインのうえ実施してください。

Webブラウザ

- モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID（TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX）に接続させます。
- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに<http://tplinkeap.net>と入力します。ユーザー名とパスワードの両方に**admin**を入力してログインします。
- 安全に管理するために、新しいユーザー名とパスワードを設定してください。続いてワイヤレスパラメーターを変更し、デバイスを新しいWi-Fiに再接続させます。

他のEAPを設定する場合も、デバイスを各EAPのデフォルトSSIDに接続し、上記の手順を繰り返します。Standalone Modeでは基本的な機能の設定が可能です。高度な機能を設定する場合は、Controller Modeを使用してください。

- Omadaアプリを起動させTP-Link IDでログインします。**Cloud Access**に進むとIDに紐付けされているコントローラーのリストが表示され、コントローラーの詳細設定ができます。

詳細な設定については、<https://www.tp-link.com/support> のダウンロードセンターからEAPのユーザーガイドをダウンロードのうえご確認ください。

安全にご使用いただくために

- 製品を火気・水・湿気・高温から遠ざけてください。
- 製品の分解・修理・改造等をしないでください。サービスが必要な場合は弊社までお問い合わせください。
- 無線機器の利用制限がある場所で、製品を使用しないでください。
- 推奨充電器以外は使用しないでください。
- アダプターは機器の近くで容易に手の届く位置に設置してください。

TP-Link製品には、GNU General Public License (GPL) の対象となるソフトウェアコードを含む、サードパーティによって開発されたソフトウェアコードが一部含まれています。該当する場合、GPLの概要やTP-Link製品で使用されている各GPLコードへのアクセス取得に関する情報は、GPLコードセンター (<https://www.tp-link.com/en/support/gpl/>) より入手可能です。それぞれのプログラムは無保証で配布され、1人以上の作者の著作権の対象となります。詳細については、GPLコードおよびGPLのその他概要を参照してください。

テクニカルサポート等、その他の情報に関してはHPをご覧ください：
<https://www.tp-link.com/support>

